

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和3年 6月4日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者

住 所 大分市大分流通業務団地1丁目3番6

氏 名 株式会社 ゆふいん牧場

代表取締役 小野秀幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 097-524-3711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	湯布院肥育センター
事業場の所在地	由布市湯布院町川上435-14
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	肉用牛180頭
③従業員数	3名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 ①当農場で堆肥化 動物の死体 ②処理業者へ委託処理



(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長 (統括責任者)

- ① 廃棄処理方針の決定
- ② 廃棄処理計画の作成
- ③ 行政等への各種報告
- ④ 担当者への指示および管理

担当者 (実務担当者)

- ① 毎日の実務処理
- ② 委託契約の締結処理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和2年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	1, 6 0 0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	1, 6 0 0 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,120 t	t
	(これまでに実施した取組) 当農場での堆肥化。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,120 t	t
	(今後実施する予定の取組) 当農場での堆肥化。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	480 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	480 t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 動物の死体は化成処理業者へ委託。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	度物の糞尿	動物の死体
	全処理委託量	0 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 動物の死体は化成処理業者へ委託。		
※事務処理欄			